

# 医療現場でのコミュニケーション方法を学ぶ

府国保診療施設協議会技術職部会研修会



国保診療施設協議会技術職部会研修会は、2月18日（土）、府国保連合会において府国保診療施設より24名が集まり開催された。

河田部会長の開会挨拶のあと、研究発表として、公立山城病院の富岡診療放射線技師は「アンギオ装置によるLCI撮影の計測精度の検証」、森臨床工学室主任は「ASV導入における臨床工学技士の関わり」、また、公立南丹病院の諸橋臨床検査技師は「当院における下肢静脈超音波検査の実際」、住谷理学療法士は「Quick inverse sliding を用いた筋力増強効果について」と題して日頃の成果等を発表した。

同志社大学心理学部教授で同大学感情・ストレス・健康研究センターの佐藤豪所長が、「医療現場におけるコミュニケーションのありかた」と題して講演を行い、人間が持つ3つの自我の特性の解説を行い、3つの自我を理解した上での効果的なコミュニケーション方法について説明した。

